

地方行政

◎昭和23年7月9日 第3種郵便物認可◎毎週2回・木曜日発行(但し祝日を除く)◎購読料金 税抜月額5,300円
発行所 〒104-8178 東京都中央区銀座5丁目15番8号 時事通信社

道標

コウノトリが舞う 里づくり

奈良 俊幸 福井県越前市長



日本を覆う閉塞感さいさくかんは近年、日本人が目先の利益に踊らされ、短期的な成果を追い求め過ぎたことに大きな要因があると私は考えています。そこで、長期的な視点に立つたまちづくりを進めていきたいとの決意から、「コウノトリが舞う里づくり」を推進しています。

平成19年に「武生」の孫が放鳥されたことから、孫の飛来を夢見て里地里山の保全再生に取り組みとともに、JAと協力して福井県認証の特別栽培米(減農薬・減化学肥料)の普及に努めた結果、昨年は福井県全体の約4割の作付け(534杉)を本市が占め、「コウノトリ呼び戻す農法米」と命名した無農薬・無化学肥料の米作りも行われています。

おかげさまで、平成22年4月にコウノトリが飛来し、107日間滞在したこと、「えっちゃん」と名付け、特別住民票も発行しました。以来5年連続してコウノトリが飛来するとともに、平成23年12月には兵庫県からコウノトリのつがいつがいが運ばれ、本市での飼育・繁殖の取り組みが始まりました。こうした取り組みが評価され、平成24年12月に市内の「水辺と生き物を守る農家と市民の会」の活動が、日本ユネスコ協会連盟の100年後の子どもたちに地域の文化や自然遺産を残し、伝えていくことを目的とする「プロジェクト未来遺産」に登録されるとともに、平成25年3月にはJA越前たけふと越前市が「第18回全国環境保全型農業推進コンクール」で優秀賞を受賞しました。

半世紀ぶりの福井県でのコウノトリの誕生を夢見て、今年も「コウノトリが舞う里づくり」を推進してまいります。

2014年(平成26年)
5月8日[木]
第10475号・合併号

目次

特集	2
徳島県・憲法改正草案(下) 「地方自治の本旨」具体化を＝ 飯泉知事と有識者2氏に聞く	
トピックス	8
国土交通省 「ドボジョ」倍増に向けて 利子負担だけとはいえ	
農政ウォッチング	9
国産大豆の復権を 体験農場に運営手引	
行政EXPRESS	10
奈良県、山口県周南市、東京都 国立市、和歌山市	
霞が関かいわい	10
厚生労働省	
一家言	11
犬の香典	
木曜連載	12
行政への苦情⑮ 性別による対応の違い＝「日 本苦情白書」の分析から	
4月の地方選挙結果	18
京都府知事に山田氏が4選	
4月の公募地方債発行条件	19
表面利率、0.664～0.703% で横ばい	
六団体	20
地域成長戦略で支援要請 法人減税、もっと危機感を	
お知らせ	
本号は12日号との合併号で す。次回発行は15日号となり ます。ご了承ください。	